

平成 28 年 11 月 15 日

会員各位

一般社団法人
福井県臨床検査技師会
生物化学分析部門
部門長 東 正浩

生物化学分析部門研修会のお知らせ

拝啓

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は技師会活動にご理解ならびにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。生物化学分析部門では下記のとおり研修会を開催いたします。ご多忙のことと存じますが、お誘い合わせのうえ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

日時：平成 28 年 12 月 17 日（土） 14:00～16:30

会場：福井赤十字病院 栄養管理棟 2階 研修室

演題①：間質性肺炎の臨床と診断・治療における関連マーカー
— シアル化糖鎖抗原 KL-6 を中心とした検査活用法 —

講師：阿部 雅仁（栄研化学株式会社 マーケティング推進室）

☆ 内容は次ページ

【60 分】

演題②：真空採血管の特性、標準採血法ガイドラインについて

演題③：事例から学ぶ、各種検査前プロセスにおける検査値影響リスクについて

講師：那須 哲也（積水メディカル株）

マーケティング部 PAS ビジネスグループ）

☆ 内容は次ページ

【80 分】

日本臨床検査技師会の規定により、①日臨技+福臨技 0円 ②福臨技のみ 500円 ③非会員 1000円 となりました。

【問合せ先】 市立敦賀病院 検査室 東 正浩

TEL 0770-22-3611（内線 4240）

【生涯教育】 専門-20 点

生物化学分析部門

演題①：間質性肺炎の臨床と診断・治療における関連マーカー

— シアル化糖鎖抗原 KL-6 を中心とした検査活用法 —

～ 内 容 ～

間質性肺炎は、肺泡領域に炎症が存在し、病理形態学的に分類可能な疾患群の総称を表しています。その原因として、薬剤性・放射性・過敏性のほか、膠原病に合併する肺炎や原因が特定困難な特発性肺炎が挙げられます。特に、特発性肺炎のうち、特発性肺線維症では有効な治療法に乏しい予後不良の疾患であり、取り分け重要な疾患との位置づけがなされています。これら間質性肺炎は胸部単純 X 線所見や呼吸機能・病理検査での診断・鑑別が基本となりますが、いずれも肺胞上皮における細胞障害自身の判別は困難です。一方、シアル化糖鎖抗原 KL-6 は、肺胞上皮で細胞障害が起こると血清中の濃度が上昇します。KL-6 は厚労省における特発性間質性肺炎の診断項目の 1 つであり、種々の間質性肺炎の診断・鑑別のほか、疾患活動性や予後評価にも広く用いられています。

今回の演題では、これら間質性肺炎の概要を踏まえた上、その診断・治療において有用性が高い KL-6 についてご紹介させていただきます。

演題②：真空採血管の特性、標準採血法ガイドラインについて

～ 内 容 ～

真空採血管は、薬事上『医療機器』に分類されるが、検体検査において血液を収容する「容器」としての役割（機能）と、検体の処理を行う「機器」としての役割（機能）を有している。

本テーマでは、採血管の「容器」や「機器」としての機能を十分に発揮させるための基礎知識として、真空採血管の構成やその特徴について説明を行うとともに、その取り扱いに関連して、JCCLS 標準採血法ガイドラインについても改めて紹介し、日常検査に役立てて頂けるよう、基礎的事項を重視した情報提供を行いたい。

演題③：事例から学ぶ、各種検査前プロセスにおける検査値影響リスクについて

～ 内 容 ～

採血から分析前処理までの諸要因に起因する異常値の発生は少なくない。これには、検体の取り違い、保存法の不備、採血管種の間違いなどのケアレスミスから、組織液の混入、ライン採血時の脱血量不足に伴う輸液の混入、採血管の取り扱いに由来する溶血の発生、フィブリンの影響など、一部の検査項目のみに重大な影響を与える採血不備に至るまで、さまざまな事例が存在し、注意が必要である。

本テーマでは、このような採血を中心とした各種検査前プロセスにおける検査値影響リスクについて、具体的事例を交えながら紹介致します。